

臼澤みさき

東北の「六つの魂」を一つに。待望のニューアルバム発売！

SHINE north

2015年4月22日発売



■臼澤みさき「SHINE north」TECE-3309 2870円(税抜)

- 1、 竿燈カラー (作詞：長塚全/作曲：津田直士/編曲：津田直士、真崎修) *秋田「竿燈まつり」
- 2、 極彩ねぶた (作詞：長塚全/作曲：津田直士/編曲：津田直士、真崎修) *青森「ねぶたまつり」
- 3、 さんさ里唄 (作詞：長塚全/作曲：津田直士/編曲：津田直士) *岩手「盛岡さんさ踊り」
- 4、 七夕ねがい唄 (作詞：長塚全/作曲：津田直士/編曲：津田直士、真崎修) *宮城「仙台七夕まつり」
- 5、 花笠ノスタルジー (作詞：臼澤岬/作曲：沖 仁/編曲：佐藤将展) *山形「山形花笠まつり」
- 6、 わらじわっせ (作詞：長塚全/作曲：津田直士/編曲：津田直士、真崎修) *福島「わらじまつり」
- 7、 みちのく節 (作詞：佐々木久夫/作曲：佐々木久夫/編曲：佐々木久夫)
- 8、 SHINE north (作詞：佐々木久夫/作曲：佐々木久夫/編曲：佐々木久夫)
- 9、 太陽と月の詩 (作詞：佐々木久夫/作曲：佐々木久夫/編曲：佐々木久夫) *ゲストヴォーカルRico
- 10、 鳥になりたい (作詞：小林夏海/作曲：江崎とし子/編曲：澤近泰輔)
- 11、 イーハトーヴの風～reborn～ ボーナストラックみさきヴァージョン
(作詞：安部光俊/作曲：安部光俊/編曲：佐藤将展)

◆問い合わせ 株式会社ティチクエンタテインメント 03-5778-1705
株式会社ハニカムエンタテインメント 019-613-5315

臼澤みさきが歌う「里唄」が、光り輝く東北の未来を照らす。
ニューアルバム「SHINE north」完成。

青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島には、東北の短い夏を彩る“夏まつり”があります。

青森県 青森ねぶた祭り（8/2～8/7開催）、**秋田県** 竿灯祭り（8/3～8/6開催）、**岩手県** 盛岡さんさ踊り（8/1～8/4開催）、**宮城県** 仙台七夕まつり（8/6～8/8開催）、**山形県** 山形花笠まつり（8/5～8/7開催）、**福島県** 福島わらじまつり（8/1～2開催）

今回のアルバムでは、昨年リリースした臼澤の地元岩手県の夏まつり「盛岡さんさ踊り」とコラボした“さんさ里唄”のように、この東北6県、各県の夏まつりをイメージし、フューチャーした曲を収録しました。

また、「里唄」という臼澤独自の“民謡”と“ポップス”を融合させた曲、さらには、秋田在住のシンガーRicoとのデュエット曲、ボーナストラックには臼澤の故郷「岩手県」で幅広い世代に歌い継がれている「イーハトーブの風」をカバーし収録。アルバム1枚で、東北の風、壮大な大地、景色をイメージできる内容になりました。

14才でデビューした“リアル・あまちゃん” 臼澤みさきの新作は爽やかな等身大ポップス

90年代以降、元ちとせ、夏川りみ、城南海など奄美・沖縄の島唄系シンガーがJ-POPシーンにて次々とブレイクしている。島唄系シンガーは、故郷の音楽をルーツとしつつ、幅広い年代のJ-POPリスナーに浸透したが、これは人々が音楽を通して日本の原風景への憧れを抱いてきたからだろう。東北出身の臼澤みさきが発表する民謡とポップスを融合した“里唄”も、同様にそうした郷愁を促してくれる。初めて聴いたのにどこか親しみやすく、懐かしささえ憶えるのだ。彼女は、1998年10月、岩手県の海沿いにある大槌町に生まれ、小学生の頃から様々な民謡大会に入賞。その実力が認められて12年7月にシングル「故郷（ふるさと）～Blue Sky Homeland～」でデビューし、『輝く！日本レコード大賞』をはじめ数々の新人賞を受賞した。デビュー当時は、“被災地を励ます民謡歌手”というインパクトが大きく、彼女の祖父母世代から大きな支持を受けはじめたが、近年はラジオのレギュラー番組やイベントLIVEで活動する中で、彼女のナチュラルなキャラクターも徐々に下の世代にも浸透してきた。そうした中で、2015年3月18日に5thシングル「SHINE north」が発表される。本作は、“The sun will shine from north”という歌詞が象徴するように、東北地方の輝ける未来という壮大なテーマを歌いつつも、全体では爽快なポップスに仕上がっている。これは、今春、高校2年生となる臼澤が歌うからこそ親しみやすく、等身大のメッセージとしても伝わりやすい。しかも主人公は、SNSを駆使するイマドキの女子高生ではなく、自然の中でおおらかに育った、元気でちょっぴり天然な女の子。そんな、“リアル・あまちゃん”のキャラクターが想起されるほど、「SHINE north」の歌声はピュアなのだ。

ここ数年、10代～20代前半の女子が歌手デビューするには、アイドルグループに入るか、ソロでギターを演奏するかという二大要素が際立ってきた。そんな中で、里唄系シンガーの臼澤みさきが、中高年のリスナーからは民謡で鍛えた実力で、また同世代のリスナーからは等身大の表現者として、幅広く支持されることを大いに期待したい。これまでの作品を知っている人も実際に聴いてみれば、14才でデビューしたあの子が、こんな胸キュンソングを歌えるようになるなんて、と驚く人も多いはずだ。

つのはず誠（T2U音楽研究所）

<臼澤みさきが歌う“里唄”とは>

岩手には、多くの民謡や音楽、芸能が伝承されている。それは、厳しい自然の中で働き、暮らしを営んできた先人たちの喜怒哀楽や祈りの結晶である。民謡や囃子を耳にすると、なぜか懐かしい気持ちにとらわれることがある。今を生きる人々のDNAの中に、そうした音の記憶が組み込まれているからだ。

臼澤みさきは、岩手に生まれ育ち、幼い頃から岩手の民謡にふれてきた。唄うときに目に浮かぶのは、ふるさとの海や里山の風景であるという。臼澤の声を聞いた人たちの脳裏には、思い思いの風景が映像を結び、「ふるさとを想う気持ち」が高まる。民謡のこぶしが、さらに望郷の心を震わせる。

岩手で育った声から生まれる、ふるさとへの共感。それが「里唄」である。

【PROFILE】

本名：臼澤岬／出身地：岩手県大槌町／生年月日：1998年10月8日／

主な民謡大会受賞歴：

2010年7月25日・第49回日本郷土民謡協会主催青少年みんよう全国大会みんようグランプリ大賞、

2011年7月31日・第25回外山節全国大会少年少女の部優勝

2011年9月25日・第26回南部牛追唄全国大会年少者の部最優秀賞

2012年7月25日・「故郷（ふるさと）～Blue Sky Homeland～」でメジャーデビュー

2012年11月14日・第45回日本有線大賞・新人賞受賞

2012年12月30日・第54回輝く！日本レコード大賞「新人賞」受賞

2013年1月7日・第27回日本ゴールドディスク大賞「ベスト演歌／歌謡曲ニューアーティスト」

【DISCOGRAPHY】

<シングル>

1st SINGLE（2012年7月25日発売） 『故郷～Blue Sky Homeland～』

CDS:TECA-12359 SCT:TESA-12359

2nd SINGLE（2013年3月6日発売） 『名前』 CDS:TECA-12420

3rd SINGLE（2013年10月23日発売） 『八重の風』 CDS:TECA-12479

4th SINGLE（2014年6月18日発売） 『さんさ里唄』 CDS:TECA-12530

<アルバム>

1st Mini Album（2012年10月24日発売） 『Homeland』 CD:TECE-3116

2nd ALBUM（2013年10月23日発売） 『里唄』 CD:TECE-3207

<DVD>

1st DVD（2013年7月17日発売） 『臼澤みさき ファーストコンサート 繋～tsunagu～』